講演会・講習会

日本化学会が主催・協賛・後援し，本誌に掲載された討論会に関する情報は，下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

原則として日本化学会の会員は，主催者の会員と同等の条件（参加費用）で参加できます。
この欄への掲載については，日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html をご参照下さい。
なお，日程・内容などが変更になる場合もございますので，最新の情報は各主催者の HP などでご確認下さい。

第 31 回高分子分析討論会

―高分子の分析及び
キャラクタリゼーション―

主　催　日本分析化学会高分子分析研究懇談会
協　賛　日本化学会
会　期　11 月 5 日（木），6 日（金）
開催方式　対面式
会　場　愛知県産業労働センター「ウインクあいち」（名古屋市中村区名駅 4-4-38）〔交通〕JR「名古屋」駅桜通口より徒歩約 5 分
参加申込締切　11 月 4 日（水）

第 31 回高分子分析討論会では，高分子材料の分析・キャラクタリゼーションをテーマに，基礎的な分析技術から材料開発・課題解決につながる応用研究まで，産学からの発表を予定しております。

特別講演
1．本質理解から価値創造へ ―よきモノづくりを導く解析科学と高分子分析（花王解析科学研）小池　亮
2．炭化フッ素の科学：分子科学と振動分光学の視点から（京大化学研）長谷川　健

一般発表（138 件）では，質量分析，NMR，赤外・ラマン分光，AFM-IR，クロマトグラフィー，X 線・電子顕微鏡，熱分析などに加え，リサイクル・環境対応，材料劣化，接着・異種材料界面，ナノ/局所構造解析，添加剤・異物分析，さらには生成 AI・機械学習を活用した分析など，幅広いテーマが取り上げられます。高分子分析を専門とされる方はもちろん，材料開発，製品開発，品質・不具合解析，リサイクル・環境技術などに携わる皆様にも，研究開発や課題解決のヒントを得ていただける機会になればと思います。
※詳細・参加申込は，下記高分子分析研究懇談会 HP をご覧ください。
参加費　一般 14,000 円，学生 3,000 円
懇親会　11 月 5 日（木）18 時 15 分～，同会場にて開催。会費 4,000 円
参加申込方法　Web
申込先・問合先　480-1192 長久手市横道　日本分析化学会高分子分析研究懇談会　第 31 回高分子分析討論会　実行委員長　加藤雄一　電話（080）5815-1407　E-mail: yuichi@mosk.tytlabs.co.jp　https://pacd.jp/touronkai

第 45 回無機高分子研究討論会

主　催　高分子学会無機高分子研究会
協　賛　日本化学会
会　期　11 月 12 日（木）10 時～13 日（金）16 時 30 分
開催方式　対面式
会　場　東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館第 1 フォーラム（新宿区神楽坂 4-2-2）〔交通〕JR 総武線，東京メトロ有楽町線・東西線・南北線，都営大江戸線「飯田橋」駅下車徒歩 5 分
参加申込締切　11 月 2 日（月）
プログラムについては HP（https://member.spsj.or.jp/event/g/spsj/internal_file/f_872/p_20261008_172133_i2S9a8UC.pdf）をご覧下さい。
参加費　企業（高分子学会・日本化学会員）7,700 円，大学・官公庁（高分子学会・日本化学会員）7,700 円，学生（高分子学会・日本化学会員）3,300 円
懇親会　森戸記念館第 1 フォーラムにて。会費 1,500 円
参加申込方法　Web
申込先・問合先　104-0042 中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6 階　公益社団法人高分子学会　電話（03）5540-3770　FAX（03）5540-3737　E-mail: resg2@spsj.or.jp　https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=872

日本セラミックス協会関西支部 第 4 回 オープンラボ＆ファクトリー

主　催　日本セラミックス協会関西支部
協　賛　日本化学会
会　期　11 月 25 日（水）
開催方式　対面式
会　場　（株）村田製作所長岡事業所（長岡京市天神 2-26-10）〔交通〕阪急京都線「長岡天神」駅より徒歩約 10 分，JR 京都線「長岡京」駅より阪急バス 10 分「西陣町」下車正面
参加申込締切　11 月 11 日（水）
参加費　無料
懇親会　17 時 30 分～19 時 30 分，長岡事業所内カフェテリアにて。会費 4,200 円（一般，学生）
参加申込方法　Web
申込先・問合先　日本セラミックス協会関西支部　https://www.ceramic.or.jp/skansai/OLF.html

日本化学会中国・四国支部岡山地区講演会

精密分子デザインの 極限：電子状態制御から 光機能材料まで

主　催　中国四国支部
会　期　11 月 26 日（木）14 時～17 時
開催方式　対面式
会　場　岡山理科大学加計学園 50 周年記念館 4F ホール（岡山市北区理大町 1-1）〔交通〕JR「岡山」駅から岡電バス「47 岡山理科大学」行で約 20 分，岡電バス「37 理大東門」行で約 30 分
参加申込締切　事前申込不要。自由にご参加いただけます。
講　演
1．全フッ素化キュバンを電子受容体とした光誘起電子移動（理研）秋山みどり
2．ふるくて，あたらしい非交互炭化水素に関する最近の研究（阪大院工）小西彬仁
3．分子構造制御に基づく π 共役系化合物の創製と機能創発～対称性が導く有機半導体と蛍光色素の分子デザイン（山形大院有機材料システム）片桐洋史
参加費　無料
参加申込方法　E-mail
申込先・問合先　岡山理科大学　理学部　化学科　岩永哲夫　E-mail: iwanaga@ous.ac.jp

近化資源・環境セミナー カーボンニュートラル 実現に向けて

―バイオエタノール・バイオ由来材料活用の現状と今後の展望―

主　催　近畿化学協会
協　賛　日本化学会近畿支部
会　期　11 月 27 日（金）13 時～19 時
開催方式　対面式
会　場　大阪科学技術センター 4F　404 号室（大阪市西区靭本町 1-8-4）〔交通〕Osaka Metro（地下鉄）四つ橋線「本町」駅 25 番，28 番出口を北へ徒歩約 5 分うつぼ公園北詰
参加申込締切　定員（40 名）になり次第
1．サトウキビ由来バイオエタノールの今後の展望 ―多収性サトウキビとライフサイクル設計による国産バイオエタノールの可能性（東大先端科技研）小原　聡
2．日本における E10/E20，SAF の本格導入について（日本環境エネルギー開発）澤　一誠
3．バイオものづくりを巡る政策動向と今後の展望（近畿経済産業局）講演者未定
4．国内におけるバイオエタノール製造技術の開発動向と今後の展望（エネルギー総合工学研）森山　亮
参加費　主催・協賛団体会員 15,000 円，大学・官公庁 7,000 円，会員外 20,000 円，学生 5,000 円（講演要旨・消費税含む）
懇親会　17 時 30 分～19 時，同所にて交流会を開催。
参加申込方法　郵送等
申込先・問合先　550-0004 大阪市西区靭本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階　一般社団法人近畿化学協会　電話（06）6441-5531　FAX（06）6443-6685　E-mail: seminar@kinka.or.jp　https://kinka.or.jp/event/2026/r8eco.html

2026 年度有機合成化学講習会

製造活動における EHS への取組み：
概要から実例まで
～有機合成化学を大量スケールで実施する際の留意事項を実例から学ぶ～

主　催　有機合成化学協会
協　賛　日本化学会
会　期　12 月 2 日（水）13 時～19 時 30 分
開催方式　対面式
会　場　早稲田大学リサーチイノベーションセンターコマツ 100 周年記念ホール（新宿区早稲田鶴巻町 513）〔交通〕東京メトロ東西線「早稲田」駅から徒歩 3 分
参加申込締切　11 月 20 日（金）
座　学　化学プロセスにおける暴走危険性評価と安全なプロセス設計 ―事故に至る可能性を想像する（三菱ケミカル）角野元彦
企業事例紹介　石橋賢一（塩野義製薬），村田貴彦（カネカ），中濱優（中外製薬），二之宮良一（アステラス製薬）
※ブース出展・紹介：住化分析センター，丸善出版，メトラー・トレド
参加費　一般（主催会員，協賛学会個人会員）企業所属 20,000 円/アカデミア所属 16,000 円，学生会員 8,000 円，一般（会員外）企業所属 30,000 円/アカデミア所属 23,000 円，学生会員 15,000 円（いずれも情報交換・交流会参加費を含む）
懇親会　情報交換・交流会（立食形式）を開催。
参加申込方法　Web
申込先・問合先　有機合成化学協会　E-mail: syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp　https://www.ssocj.jp/event/kousyukai_2026/

第 13 回 分散凝集科学技術講座 ―分散・凝集のすべて―

主　催　コロイドおよび界面化学部会
会　期　12 月 3 日(木)，4 日(金)
開催方式　オンライン
参加申込締切　12 月 4 日(金)

分散・凝集技術は，塗料，セラミックス，電池材料をはじめとする工業分野に加え，食品，化粧品，医薬品，農薬などの幅広い領域を支える基盤技術です。分散系では，粒子の表面状態，ナノ構造，粒子間相互作用といったミクロスコピックな因子が，流動性，安定性，沈降性，塗布性，機能発現などのマクロスコピックな物性を大きく左右します。しかし，実用系では多成分化・高濃度化・非平衡性などが複雑にかかわるため，分散・凝集現象の理解と制御には，今なお多くの課題が残されています。第13回となる本講座では，これまでの開催を通じて蓄積してきた知見を踏まえ，分散・凝集の基礎理論から，測定・評価手法，レオロジー，界面設計，濃厚分散系の制御，さらに実材料への応用までを体系的に取り上げます。初学者の方や基礎を再確認したい方にも理解しやすいよう，分散・凝集の原理と考え方を丁寧に解説するとともに，研究開発の現場で役立つ実践的な視点も紹介します。また，参加者の多様なニーズに応えるため，2 日目の午前には選択制の 2 コースを設けます。電池，エレクトロニクス，塗料などの工業分野に加え，化粧品，ハウスホールド，バイオ，医薬品分野における具体的な応用事例を取り上げ，分野ごとの課題と設計指針を学べる構成としています。全プログラムは見逃し配信にも対応し，後から両コースを視聴することも可能です。分散・凝集に関する課題は，材料設計，プロセス制御，品質管理，機能発現など，研究開発の様々な場面に現れます。本講座は，こうした課題に対する理解を深め，解決の糸口を見出すための実践的かつ体系的な学びの場です。

参加費　部会員 30,000 円，日本化学会会員 35,000 円，協賛学会員 35,000 円，非会員 40,000 円，学生（部会員）8,000 円，学生（非会員）10,000 円
参加申込方法　Web
申込先・問合先　コロイドおよび界面化学部会　https://colloid.csj.jp/202608/2026pt/

ハロゲン利用コロキウム in 愛媛

主　催　ハロゲン化学若手有志（旧臭素化学懇話会若手会員）
後　援　日本化学会中国四国支部
会　期　12 月 4 日(金) 14 時 30 分～
開催方式　対面式
会　場　愛媛大学理学部総合研究棟 I 6F 会議室（松山市文京町 2-5）〔交通〕伊予鉄道市内電車環状線「赤十字病院前」下車北へ徒歩 5 分
参加申込締切　事前申込不要，当日会場にて受付

本講演会では 3 名の講師をお招きし，ハロゲンを利用した最新の研究成果ならびにハロゲンを取り巻く産業界の現状と展望についてご講演いただきます。

講演者　伊藤智志（宇都宮大），海宝龍夫（合同資源），ほか 1 名（調整中）
参加費　無料
参加申込方法　E-mail
申込先・問合先　790-8577 松山市文京町 2-5　愛媛大学学術支援センター　森　重樹
電話(089)927-9663　FAX(089)927-9670　E-mail: mori.shigeki.mu@ehime-u.ac.jp

化学への招待（東北支部第 367 回開催）

マイクロスケール化学実験による科学的思考力の育成

―化学実験から反応式を組み立てよう―

主　催　東北支部
会　期　12 月 5 日(土)9 時 30 分～17 時
開催方式　対面式
会　場　秋田県立横手城南高等学校（横手市根岸町 2-14）〔交通〕JR「横手」駅より徒歩 20 分，または羽後交通バス停「本町」より徒歩 5 分
参加申込締切　11 月 27 日(金)ただし定員（午前の部・午後の部各 20 名）になり次第

金属の酸化還元反応と電気分解について，化学基礎とその発展的な内容から 5 テーマを取り上げ，個人実験を行います。化学反応は試験管および培養用マイクロプレートで行います。個人実験により，受講者一人一人が仮説，実験，観察，考察といった科学的なプロセスを体験することができます。その結果，自然への興味関心が高まり，問題解決能力も育成できると期待されます。同一内容で午前と午後の 2 回実施します（午後の部は 13 時 30 分開始）。希望者数により午前・午後の部の調整を行います。

参加費　無料
参加申込方法　E-mail
申込先・問合先　010-8502 秋田市手形学園町 1-1　秋田大学教育文化学部　清野秀岳
電話/FAX(018)889-2589　E-mail: seino@gipc.akita-u.ac.jp

第 46 回水素エネルギー協会（HESS）大会・2026 HESS 特別講演会

主　催　水素エネルギー協会（HESS）
協　賛　日本化学会
会　期　12 月 7 日(月)10 時～9 日(水)17 時
開催方式　オンライン・対面併催
会　場　タワーホール船堀小ホール（江戸川区船堀 4-1-1）〔交通〕都営新宿線「船堀」駅下車北口より徒歩約 1 分
参加申込締切　早期割引：10 月 1 日(木)～11 月 12 日(木)　通常料金：11 月 13 日(金)～12 月 9 日(水)

参加登録により「第 46 回 HESS 大会」「2026HESS 特別講演会」2 つのイベントへの参加が可能です。

参加費　早期割引（11 月 12 日(木)まで）：HESS 会員 8,000 円（学生 2,000 円），協賛会員 8,800 円(学生 2,200 円)，非会員 16,500 円（学生 3,300 円）
懇親会　12 月 7 日(月)プログラム終了後に開催。会費：事前申込制 7,000 円
参加申込方法　Web
申込先　HESS 事務局　https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/hessecsj2026
問合先　HESS 事務局　E-mail: secretary@hess.jp　https://www.hess.jp/

令和 8 年度 山形地区講演会 & 山形大学理学部講演会

主　催　日本化学会東北支部　山形大学理学部
会　期　12 月 11 日(金)16 時 20 分～17 時 50 分
開催方式　対面式
会　場　山形大学理学部(小白川キャンパス) 11 番教室（山形市小白川町 1-4-12）〔交通〕JR「山形」駅から徒歩約 25 分，もしくはベニちゃんバス東くるりん「山大前」バス停すぐ
参加申込締切　12 月 4 日(金)

1．有機高分子光カソードを用いたソーラー過酸化水素製造（新潟大工）坪ノ内優太

過酸化水素は，有機合成や医療用消毒剤など幅広い分野で利用されていますが，現在の工業的な製造法は化石燃料に依存しているため，環境負荷が大きいことが課題となっています。そのため，太陽光などの再生可能エネルギーを利用した持続可能な過酸化水素製造技術の開発が求められています。本講演では，酸素を過酸化水素へ高選択的に還元する有機高分子光カソードの開発と，それを用いたソーラー過酸化水素製造システムの構築に関する最新の研究成果を紹介します。

2．Bio-inspired Electronics の構築（東北大学際科学フロンティア研）阿部博弥

自然界には優れた構造・機能があります。本講演では，これらの構造に学び，電気化学材料・デバイスの高性能化・高機能化を目指した研究を紹介します。

3．機械学習予測と実験検証の反復による新規多元素触媒の開発（産総研化学プロセス研究部門）峯　真也

本講演では，触媒組成・調製条件・反応特性を統合したデータに基づく機械学習予測と，実験検証を反復し，広大な多元素触媒組成空間を効率的に探索する手法について紹介する。予測不確実性を考慮した候補選定と触媒合成・活性評価を繰り返すことで，既存の知見や初期データのみからは想定しにくい元素組合せを見いだし，その触媒性能および機能発現要因を検討した事例について紹介する。

参加費　無料
参加申込方法　E-mail
申込先・問合先　山形大学　理学部　石﨑　学
E-mail: manabu-ishizaki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

第 8 回 MAIRS ワークショップ

主　催　日本分光学会赤外ラマン研究部会
協　賛　日本化学会
会　期　12 月 11 日(金)13 時～17 時
開催方式　オンライン・対面併催
会　場　京都大学化学研究所・共同研究棟・大セミナー室（宇治市五ヶ庄）〔交通〕JR 奈良線「黄檗」駅徒歩 7 分，京阪宇治線「黄檗」駅徒歩 10 分
参加申込締切　定員になり次第

多角入射分解分光（MAIRS）法は薄膜の分子構造解析に有用で，XRD と相補的です。表面増強赤外分光や高分子・材料開発，星間塵まで，産学の講演者を交えて赤外分光の最前線を考えます。

1．開会の辞（京大）長谷川　健
2．表面増強赤外分光法：その基本実験方法

と生体分子計測への応用（京大）安宅憲一
3. 材料開発における分光分析 ―有機半導体膜の構造解析の事例（富士フイルム）椙山卓郎
4. 偏光赤外分光による高分子摺動材料の摩擦誘起分子配向解析（小松大）粕谷素洋
5. 垂直配向を企図した剛直高分子複合膜の配向・反応解析（京大）石毛亮平
6. 製品紹介（日本分光）乗本真吾
7. 製品紹介（サーモ）澤田寛己
8. パーフルオロアルキル鎖のバンドプログレッションを利用した分子配向解析（京大）荒木泰介
9. MAIRS で迫るアモルファス氷星間塵の構造解明（東大）羽馬哲也
10. 閉会の辞（京大）長谷川　健
定員：対面 60 名（オンライン無制限）。事前申込・事前入金制。
参加費　日本分光学会会員および協賛学会会員 4,000 円，日本化学会会員 4,000 円，一般 7,000 円，学生無料（対面・オンライン同額）
参加申込方法　Web
申込先・問合先　611-0011 宇治市五ヶ庄 長谷川健　電話(0774)38-3070　FAX(0774)38-3074　E-mail: htakeshi@scl.kyoto-u.ac.jp https://www.scl.kyoto-u.ac.jp/~yoeki/pdf/8thMAIRS_WS.pdf

化学実験講座（第 221 回）

主　催　国立科学博物館　日本化学会関東支部　東京都理化教育研究会
会　期　12 月 12 日(土)14 時 30 分～16 時
開催方式　対面式
会　場　国立科学博物館上野本館地球館 3 階実験実習室（台東区上野公園 7-20）〔交通〕JR「上野」駅公園口から徒歩 5 分，東京メトロ「上野」駅 7 番出口から徒歩 10 分
参加申込締切　11 月 23 日(月)ただし定員（20 名）を超えた場合は抽選
「混酸シリカゲル」を用いるトルエンのニトロ化（東理大）井上正之
　濃硝酸と濃硫酸の混合物を担持させた「混酸シリカゲル」を用いて，トルエンのニトロ化を行います。高等学校の実験教材として，発がん性があるベンゼンの代わりにトルエンを用いる場合の課題は，配向性の判別です。この講座では，環状オリゴ糖として身近で使われるシクロデキストリンを用いる配向性の判別を体験していただきます。
参加費　50 円（保険料，当日集めます）
参加申込方法　Web
申込先・問合先　110-8718 台東区上野公園 7-20　国立科学博物館学習課　学習支援担当　電話(03)5841-9888　E-mail: lecture@kahaku.go.jp　https://www.kahaku.go.jp/events/

“講演会・講習会”欄／“研究発表会―発表募集”欄への投稿について

❶掲載対象
①“講演会・講習会”欄，“発表募集”欄に掲載する行事は，日本化学会の本部，支部，部会，研究会が，主催，共催，協賛，後援するものに限ります。
②掲載は，当会の主催を除き，事前に共催・協賛・後援依頼申請後，許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意下さい。
③「化学と工業」誌“行事一覧”は，日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

❷掲載欄
①掲載は，“講演会・講習会”欄かまたは“発表募集”欄のどちらか 1 回に限ります。両方への掲載はできません。
②“講演会・講習会”欄に掲載する内容は，“主催者側からの依頼による講演などが中心の行事”の参加募集です。
③“発表募集”欄に掲載する内容は“一般応募による講演などが中心の行事”の発表募集です。

❸参加登録費
原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件（参加費用）で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には，別に本会会員の参加費を明記して下さい。
例：○○学会会員 10,000 円，日本化学会会員 10,000 円，共催団体 15,000 円，非会員 20,000 円

❹原稿締切日と掲載月
①原稿締切日は，毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

❺原稿作成と投稿方法
①原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。
②制限字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが，超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。
③専用フォーマット使用方法
A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は，「記事内容」欄の中で表記して下さい。
B) 数字，英文字は半角で入力して下さい。
C) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり，インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意下さい。
【使用できない文字例】
・半角カナ；ｱｶｻﾀﾅ，記号（約物）；，。「(・/　等
・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ，丸数字；①②③④
※アルファベットのⅠ，Ⅴ，Ⅹ，Ⅴを組み合わせてローマ数字を表現。
※文字の代わりに（1）（2）の表記を使用。
※組文字は全角（株）（有）mm での表記にする。
D) テキスト上で表現できない文字（外字，作字）については使用を避けて下さい。なお，人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し，投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。
E) 文書中で書式指定（上付き，下付き，イタリック体）を希望の場合は，タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付；P^{2+}→ P ＜SUP＞ 2 ＋＜/SUP＞
・下付；CO_2 → CO ＜SUB＞ 2 ＜/SUB＞
・イタリック；*italic* → ＜I＞ italic ＜/I＞

④原稿の作成が終わりましたら，画面下の送信内容確認ボタンをクリックし，送信内容をご確認下さい。内容確認後，送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後，原稿の校正はできませんのでご注意下さい。
⑤投稿完了後，受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて，受付番号，掲載予定号，投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は，正常に原稿が受理されていないおそれがありますので，必ず受理通知メールをご確認下さい。
⑥投稿原稿は，編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

❻送信後に大幅な訂正が生じた場合
①原稿締切（当月 25）日まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号，受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際，E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

❼問合先
【修正に関する問合せ】
三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話(03)6807-8212　E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp
【投稿・請求に関する問合せ】
日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp